



西日本新聞社

2024年7月4日号

経済 福岡

ウェブ上で配送業者と荷主をマッチングするサービス「オールハイソー」を手がけるセゲルの朴用哲社長＝6月、



ウェブ上で配送業者と荷主をマッチングするサービス「オールハイソー」を手がけるセゲルの朴用哲社長＝6月、福岡市

物流管理システムを販売する福岡市のベンチャー企業セゲルは、運送会社と荷主をウェブ上でマッチングする会員制サービス「オールハイソー」を開発。1月から運用している。2024年問題の解決に向けて「トラック配送の効率化を図らなければならない」と、朴用哲社長は強調する。

往路で荷物を満載しても、復路では「空気を運ぶ」ようなケースは少なくない。国土交通省によると、国内の営業用トラックで輸送能力に占める実際の輸送量「積載効率」は4割を下回っているという。

セゲルのサービスでは、運送会社がトラックに空きがある時間帯を登録し、会員の荷主に向けて荷物の積載依頼を募ることができる。

朴社長は「積載率が上がれば、運送会社の売り上げが拡大し、従業員の給料も上げやすくなる」と語る。

運送業界の大多数を占める中小事業者と、全国の荷主がウェブ上で直接取引できる点も大きい。「取引先が少ない中小企業にも、営業ツールとしてサービスを使ってもらいたい」と朴社長。現在は数百社に上るシステム利用実績を今秋に3千社まで伸ばすことを目指す。(山下航)